

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成23年3月29日
【四半期会計期間】	第63期第3四半期（自平成22年10月1日至平成22年12月31日）
【会社名】	F C M株式会社
【英訳名】	F C M C O . , L T D .
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 市居 律雄
【本店の所在の場所】	大阪市東成区神路三丁目8番36号
【電話番号】	(0 6) 6 9 7 5 - 1 3 2 4
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 川森 晋治
【最寄りの連絡場所】	大阪市東成区神路三丁目8番36号
【電話番号】	(0 6) 6 9 7 5 - 1 3 2 4
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 川森 晋治
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番36号)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年2月8日に提出した第63期第3四半期（自平成22年10月1日至平成22年12月31日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第3 設備の状況

（2）設備の新設、除却等の計画

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示しております。

第一部 【企業情報】

第3 【設備の状況】

（2）設備の新設、除却等の計画

（訂正前）

当第3四半期会計期間において、前四半期会計期間末に計画した重要な設備の新設、除却等について日程に一部変更があるものの重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

（訂正後）

当第3四半期会計期間においては、前事業年度末に計画していた重要な設備の新設および重要な改修について、市場環境や業界動向等を考慮し一部計画を変更致しました。

重要な設備の新設(変更前)

事業所名 (所在地)	事業部門	設備の内容	投資予定金額		資金調達方法	着手及び完了予定		完成後の増加能力
			総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
富山事業所 (富山県富山市)	電子機能材事業	メッキ設備	190,000	-	自己資金及び 借入金	平成22年 4月	平成22年 9月	-
京都事業所 (京都市南区)	電気機能線材事業	伸線設備	50,000	-	自己資金及び 借入金	平成22年 4月	平成22年 12月	-

重要な設備の新設(変更後)

事業所名 (所在地)	事業部門	設備の内容	投資予定金額		資金調達方法	着手及び完了予定		完成後の増加能力
			総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
富山事業所 (富山県富山市)	電子機能材事業	メッキ設備	76,000	67,358	自己資金	平成22年 4月	平成23年 3月	-
京都事業所 (京都市南区)	電気機能線材事業	伸線設備	25,000	20,285	自己資金	平成22年 4月	平成23年 3月	-

重要な改修(変更前)

事業所名	事業部門	設備の内容	投資予定金額		資金調達方法	着手及び完了予定		完成後の増加能力
			総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
富山事業所 (富山県富山市)	電子機能材事業	建物	40,000	-	自己資金	平成22年 4月	平成22年 12月	-

重要な改修(変更後)

事業所名	事業部門	設備の内容	投資予定金額		資金調達方法	着手及び完了予定		完成後の増加能力
			総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
富山事業所 (富山県富山市)	電子機能材事業	建物	14,000	13,385	自己資金	平成22年 4月	平成23年 3月	-